

このたびはお買上げいただきありがとうございました。

保管用

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、据付工事前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
- お客さまご自身では据付けないでください（安全や機能の確保ができません）。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

LED 照明器具

LED 一体型ベース照明 Nu シリーズ 110形 ライトユニット [段調光形 (100%,70%)]

取扱説明書・据付工事説明書 ■販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。 ■お客さまへ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

ライトユニットタイプ	ライトユニット形名	光色 (色温度)	質量		適合本体	器具本体形名	質量
13400lm タイプ	DLU813H21/N-N5	昼白色 (5000K)	約1.7kg	直付形	逆富士タイプ 150幅	VB110-1522	約1.9kg
10000lm タイプ	DLU810H21/N-N5	昼白色 (5000K)	約1.7kg		逆富士タイプ 230幅	VB110-2321	約2.5kg
6400lm タイプ	DLU86421/N-N8	昼白色 (5000K)	約1.7kg		笠付タイプ	AB110-1521	約1.8kg
5000lm タイプ	DLU85021/N-N8	昼白色 (5000K)	約1.7kg		トラフタイプ	MB110-0721	約1.1kg

組合せ形名

器具本体形名	ライトユニット形名			
	DLU813H21/N-N5	DLU810H21/N-N5	DLU86421/N-N8	DLU85021/N-N8
VB110-2321	MVB8121/13HN21-N5	MVB8121/10HN21-N5	MVB8121/64N21-N8	MVB8121/50N21-N8
VB110-1522	MVB8122/13HN21-N5	MVB8122/10HN21-N5	MVB8122/64N21-N8	MVB8122/50N21-N8
MB110-0721	MMB8121/13HN21-N5	MMB8121/10HN21-N5	MMB8121/64N21-N8	MMB8121/50N21-N8
AB110-1521	MAB8121/13HN21-N5	MAB8121/10HN21-N5	MAB8121/64N21-N8	MAB8121/50N21-N8

- ・表の器具本体と組合せてご使用の場合は、本説明書の取付方法を参照ください。
- ・組合せ形名は左表の通り、器具本体との組合せで変わります。

安全のために必ず守ること

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

禁止

指示を守る

警告

- 配線工事、器具取付の際は必ず電源を切る（火災・感電の原因）
- 補強のない天井には取付けない（火災・落下の原因）
- 器具を密集して取付けない〔200mm以上離す〕（器具の温度が高くなり火災の原因）
- 器具取付けの際は電線を挟まない（絶縁不良により、火災・感電の原因）
- 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない（絶縁破壊により、火災・感電の原因）
- 電源線・アース線は確実に接続し、端子台の最大送り容量を超えない（火災・感電の原因）
- 引火する危険のある雰囲気〔ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所〕で使用しない（火災の原因）
- 高温〔35℃を超える〕、高湿〔85%RHを超える〕、粉じん、機械工場などの油煙のある場所、強い振動・衝撃のある場所で使用しない（火災・感電・落下の原因）
- 狭い箱のような中で使用しない。また、器具を隠して使用する場合は、放熱を妨げない（器具が過熱して火災の原因）
- 器具を布や紙などで覆わない（可燃物を被せて使用すると火災の原因）
- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない（火災・感電・落下の原因）
- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない（火災・感電の原因）
- ライトユニットは精密機器のため、取付け・取外しの際は器具本体の◇マーク付近を持ち、ひねらない（感電・落下の原因）

！

- 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従い行う（施工不備により、火災・感電・落下の原因）
- 必ず当社の専用器具本体とライトユニットとの組合せで使用する（火災・感電・落下の原因）
- レースウェイに取付ける場合、器具は建築設備耐震設計・施工指針に基づき施工されたレースウェイに取付ける（落下の原因）

注意

- 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない（過熱して火災の原因）
- 光を直視しない（長時間直視すると目を痛める原因）
- 仕様図の指定箇所・指定方向以外には取付けない（火災・落下の原因）
- 器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない（絶縁不良やさびにより、感電・落下の原因）
- 直射日光の当たる場所、腐食性ガスやオゾンが発生する場所で使用しない（劣化による落下の原因）
- 屋外、水や湿気の多い場所、軒下・開放型駐車場・ピロティ等の雨線内で使用しない（火災・感電の原因）
- 風が吹く場所で使用しない（落下の原因）
- 表示された電源電圧以外では使用しない（火災・感電の原因）
定格電圧の90%以下での使用は、電源ユニットの耐用年限が短くなったり、故障の原因となります。

！

- 明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検、3年に1回は工事店等の専門家による点検を行う（点検不備により、火災・感電・落下の原因）
- ・照明器具には耐用年限があります。設置して8～10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行していますので、点検・交換をおすすめします。LED光源は光束維持時間に達しても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

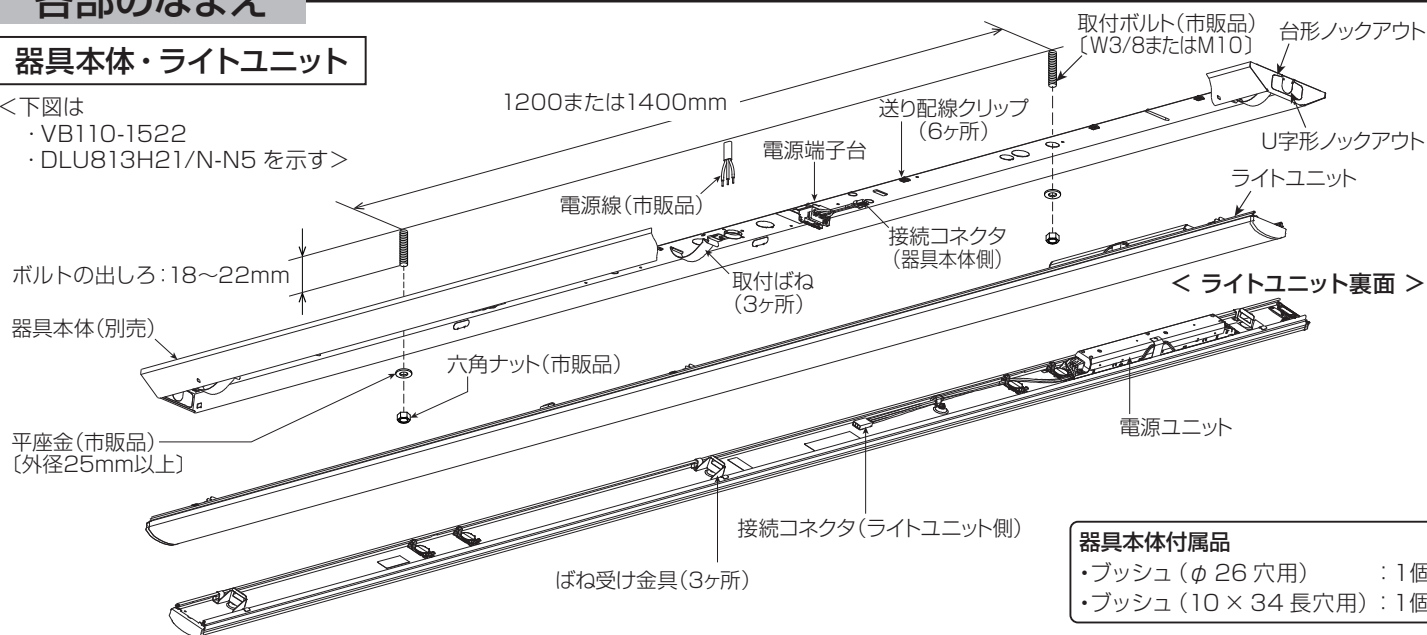
施工者様へ

以下の各部のなまえ・取付方法等をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

各部のなまえ

器具本体・ライトユニット

<下図は
・VB110-1522
・DLU813H21/N-N5を示す>



器具本体付属品

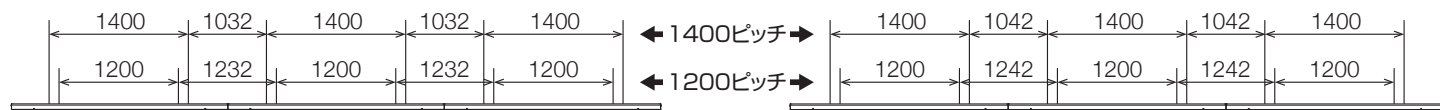
- ・ブッシュ (φ 26 穴用) : 1個
- ・ブッシュ (10 × 34 長穴用) : 1個

連続取付ピッチ

【VB110-1522・AB110-1521・MB110-0721の場合】

【VB110-2321の場合】

単位: mm



据付場所の選定

- ・天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな場所
- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスやオゾンが発生しない場所
- ・一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所
- ・その他仕様図に記載された事項が守られた場所

取付方法

警告

施工は、据付工事説明書に従い確実にに行い、ライトユニットの取付け・取外しの際は、必ず電源を切る (火災・感電・落下の原因)

1 取付前の確認

- (1) 器具本體質量、ライトユニット質量、及びライトユニットの引き下げ力 (60N) の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

- ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
- ・取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。

- (2) 取付ボルトの長さは、天井面より18~22mmにする。



2 器具本体を取付ける

- (1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。ノックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず器具本体に付属のブッシュを取付ける。

- (2) 別途手配の、平座金・六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは1.0~1.2N・m。

お願い
締付トルク値を守ってください。
(器具変形・天井面とのすき間の原因)

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。
- ・適合引込み電源線 : φ1.6mmVVF単線 または φ2.0mmVVF単線
 - ・電源線を電源端子台から取外すときは、幅6mmのマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。

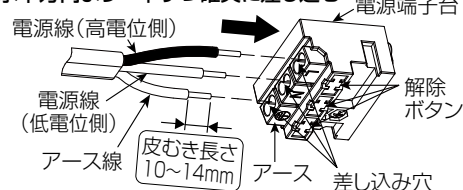
- ・電源端子台の送り総容量はライトユニットの明るさタイプで異なります。(下表参照)

明るさタイプ	送り総容量
13400lmタイプ	12A
10000lmタイプ	14A
6400lmタイプ	16A
5000lmタイプ	20A

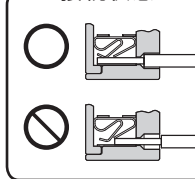
警告

D種〔第3種〕接地工事は電気設備の技術基準に従って行い、漏電遮断器を確実に設置する(故障・漏電の時に、火災・感電の原因)

水平方向より一本ずつ確実に差し込む



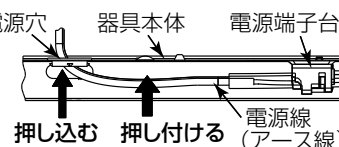
接続状態



警告

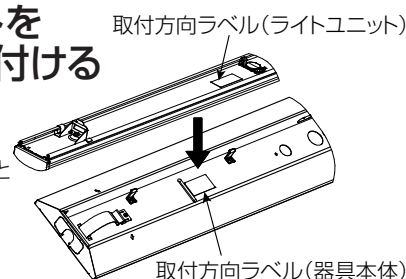
- ・電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにもむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により、火災・感電の原因)
- ・送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台の送り総容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因)

- (2) 電源線・アース線の接続後、電源穴と器具本体との当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を器具本体に押し付ける。

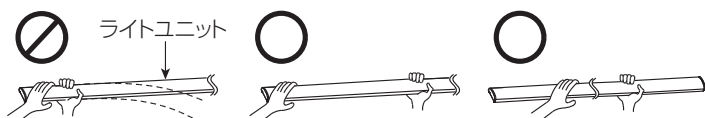


4 ライトユニットを器具本体に取付ける

- ・ライトユニットには、方向があります。取付ける際には、器具本体とライトユニットの色付きの取付方向ラベルを合わせてください。



<持ち方>

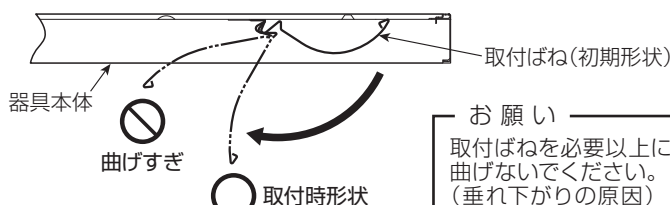
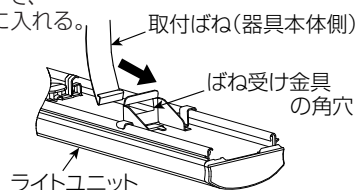


- (1) 器具本体側にライトユニットを仮取付けする。

- 器具本体の取付ばねを下に曲げて、ばね受け金具の角穴(3ヶ所)に入れる。

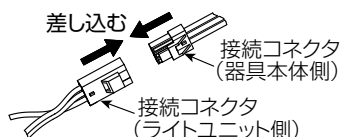
⚠ 注意

取付ばねの1ヶ所のみ、ばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない(落下の原因)

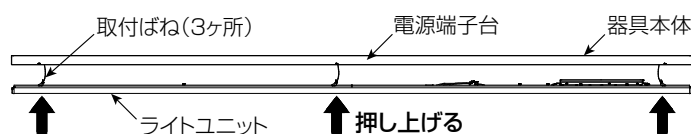


- (2) 器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。

お願い
接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけないでください。(破損の原因)

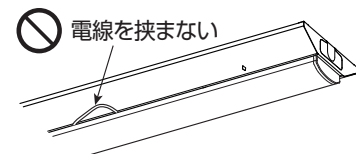


- (3) ライトユニットのばね受け金具近傍を持ち、電線を挟まないように器具本体側へ押し上げてライトユニットを取付ける。



⚠ 注意

押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない(けがの原因)



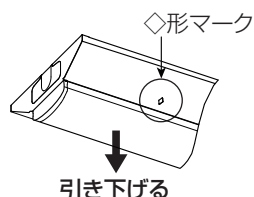
5 ライトユニットの取外しかた

- (1) 器具本体の◇形マークを目印に、ライトユニット側面部を持ち、端部→中央部→端部の順に引き下げる。

- (2) 取付けた時と逆の手順で取外す。

⚠ 注意

点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない(高温のためやけどの原因)



6 連続取付の場合

- 取付ピッチを確認する。(2ページを参照)
- 器具本体の端部をそろえて連結する(器具本体の中心を合わせる)。
- 連続取付の中央部から両端に向かってライトユニットを器具本体に取付ける。

7 器具間送り配線をする場合

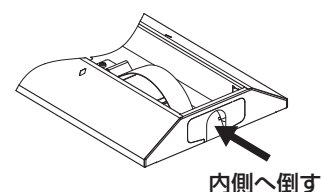
- (1) 天井裏に電源線を戻して配線する(推奨)。

〔器具内送り配線をする場合〕

- 器具本体のU字形ノックアウトを器具本体の内側に倒して取外す(逆富士タイプの器具は台形ノックアウトも取外す)。
- 電源線はエコケーブルソフトタイプを使用し、器具間を接続する。
・適合電源線: ϕ 1.6EM-EEF
- 取付ばね・電源ユニットに触れないように配線し、送り配線クリップに挿入して固定する。

⚠ 注意

ノックアウト部分には各配線のシース〔外被〕を残して施工する(火災・感電の原因)



据付工事後の確認

- 据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください(機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません)。

チェック内容	チェック欄
電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込んでいますか。	
器具本体とライトユニットのコネクタを接続していますか。	
器具本体とライトユニットが確実に取付いていますか。	

試運転

- お客様立ち会いで試運転を行ってください。スイッチ ON/OFF などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

お客様への説明

- 取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー・ゼネコン)や管理人などに説明してください。

お客様へ

以下の使用方法・お願い等をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。

⚠ 警告

お客様自身で電気工事をしない(火災・感電の原因) 電気工事士の資格が必要です。

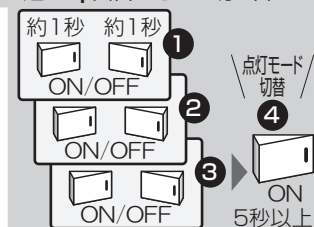
点灯モードの切替

●点灯モード(定格・節電モード)の切替

- 出荷時は定格モードに設定されています。
- 消灯しても消灯前の点灯モードを記憶しています。

壁スイッチ操作 ON/OFF を繰り返し4回目のONで切り替わる

- 定格モード切替
約5秒の間に明るさが1回明減します。
- 節電モード切替(明るさ 約70%)
約5秒の間に明るさが2回明減します。



●点灯モードのリセット操作(定格モードにリセット)

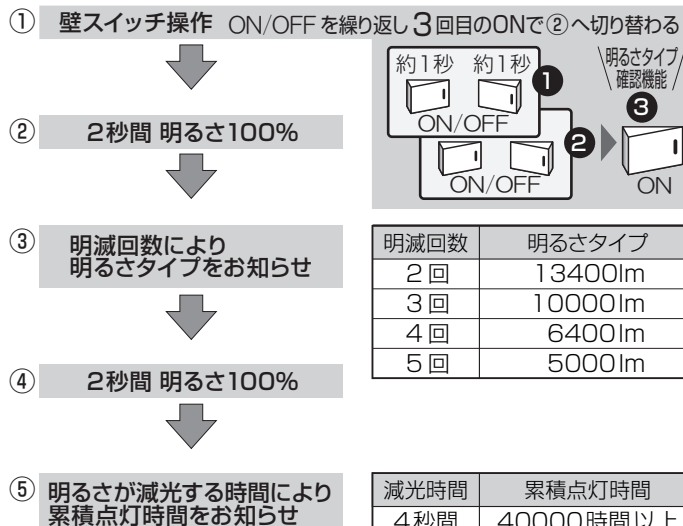
- 器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により点灯モードのリセットを実施してください。

壁スイッチ操作

ON/OFF を繰り返し5回目のONで完了

- 明るさが1回明減すればリセット完了となり、定格モードになります。

明るさタイプ・累積点灯時間の確認



お願い

- ・周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
- ・器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せると、ちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー・接点式人感センサスイッチを使用してください。
- ・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- ・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する原因となります。
- ・LED光源の交換はできません。交換の際はライトユニットごと交換してください。

お手入れ

<器具>

器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバー>

カバーはキズがつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。強い力で拭いたり、化学雑巾を使用しないでください。

お知らせ

- ・LED素子にはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一型番の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
- ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- ・虫の飛来が多い場所で使用される場合、ライトユニット内に虫が侵入する恐れがあります。このような場合は、虫が入りにくい防雨・防湿形器具などをおすすめします。
- ・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ・電源事情の悪い場所では、LEDがちらつく場合があります。
- ・バーコードリーダーを器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。事前確認することをおすすめします。
- ・誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線（同時通訳システム）及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

故障かな？と思ったら

- Q “ピシッピシッ” という音がする。
A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこすれる音です。
- Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。
A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

保証とアフターサービスは、器具本体とライトユニットに適用されます。

- ・保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、照明器具に内蔵されている電源ユニットは3年間です。
- ※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。
- ・この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

ライトユニットタイプ	定格	定格電圧	入力電流 (A)			消費電力 (W)			段調光 (70%) 消費電力 (W)		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
13400lm タイプ	-N5	AC200 - 242V	—	0.415	0.347	—	80.5	80.5	—	55.2	55.2
10000lm タイプ	-N5	AC200 - 242V	—	0.313	0.256	—	60.8	60.1	—	41.2	41.2
6400lm タイプ	-N8	AC100 - 242V	0.386	0.202	0.172	37.8	37.2	37.0	25.9	25.4	25.6
5000lm タイプ	-N8	AC100 - 242V	0.291	0.150	0.129	28.5	27.9	28.2	19.8	19.6	19.8

・電源周波数50Hz/60Hz共用形です。

異常時の処置



警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る（火災・感電の原因）
煙が出なくなったことを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

株式会社ホテルクス

東京都港区芝一丁目11番11号 住友不動産芝ビル
〒105-0014 www.hotalux.com

<お客様相談室>

フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～17:30
(土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)
FAX. 0748-61-2330

この説明書は、再生紙を使用しています。